

第2章 西武新宿線・西武園線

第1節 小平～沼袋

<2004年6月23日(水) 拝島線の続き>

小平(12:20)～花小金井(13:55)～田無(14:35)～西武柳沢(15:05)～東伏見(15:25)～武蔵関(15:45)～上石神井(16:10)～上井草(16:30)～井荻(16:45)～下井草(17:00)～鷺ノ宮(17:30)～都立家政(17:40)～野方(17:55)～沼袋(18:20)

駅前で「札幌みそラーメン店」の看板を見かけたので休息する。昼間から挙動不振の男性がよたよたと入ってくる。店の奥様がこの人に対し適切な対応が印象的だった。



※小平駅



※花小金井駅、田無駅

美園町で袋小路・行き止まりの場面を数箇所経て、福家先輩が校長先生としてかつて勤められた小平第六中学校を 13 時 10 分通過する。小平駅は霊園が多いため行き止まりも多いと思われる。花小金井と武蔵小金井方面行きの表示のあるバス停を見つける。「小金井」の付く名称が二つあり不思議に思った。よく考えてみると、武蔵小金井は中央線の JR 線の駅名であった。花小金井の交差点から 5 分位行った先に花小金井駅 (13 時 55 分) があった。田無駅には 14 時 35 分に到着する。この駅は、西武鉄道沿線をこれまで歩いた駅の中で最も賑やかであった。道路の至るところで来る 7 月 11 日の参議院議員の選挙ポスターをはる箇所を見かけた。西武柳沢 (15 時 5 分)、東伏見 (15 時 25 分)、武蔵関 (15 時 45 分) に着く。



※西武柳沢駅、東伏見駅

武蔵関駅から東京 23 区となる。石神井公園が近郊である上石神井駅には 16 時 10 分となる。この駅には西武新宿線の電車の車庫があった。水分を 1 時間に 1 本程度補給したためか、この駅辺りから疲労感を覚える。本日目標である西武新宿駅まで 12km 余りある。少なくとも 3 時間から 4 時間は要する。出発点当初は、西武新宿駅までは 19 時前には着くと考えていた。しかし、午前中のんびりしたことと線路に沿った道がないこと等で遠回りとなる軌道修正を余儀なくされ、遅れ気味となる。本日は「中途半端な営業距離が残るがしかなかった」と自分に言い聞かせながら。上井草 (16 時 30 分)、井荻 (16 時 45 分)、下井草 (17 時 00 分) を淡々と歩く。下井草駅は私が歩いた北側の道路には駅への道がなく、南側に出るため、200m 位回り道をする。



※武蔵関駅、上石神井駅

妙正寺川に出くわしこの川を越えるかを確認するために地図を見る。この川を越えな
いでつたい歩きした先に鷺ノ宮駅があった。17時30分に到着する。この駅から500m
先の都立家政駅（17時40分）は設備投資を省力化した粗末な駅であつた。アーケード
が目についた野方駅には17時55分の到着となる。ここで疲れたのでアップすることも
考えたが、まだ18時前であつたので、最後の気力を振り絞って1Km先の沼袋駅を目指
すこととする。環七を超え、鷺ノ宮駅近郊を流れる妙正寺川に沿った先に沼袋駅があつ
た。



※上井草駅、井荻駅



※下井草駅、西武車両（2022年12月23日（金））

沼袋駅近郊は10年前位に一度来たことがあり懐かしく思えた。沼袋駅には18時20分に到着。高田馬場、新宿経由で自宅を目指す。本日は、余り汗をかかず体調的におかしいと思ったら、成城学園駅を過ぎた辺りから気分が悪くなり（乗り物酔いの感じ）、途中下車し1～2本電車を見送る。やっとのことで自宅に20時25分到着。本日の営業距離は、23.7km、万歩計（小田急友の会景品を本日から使用）は59,501歩だった。巨人が中日に大敗し、その影響も体調に出た。



※鷺ノ宮駅、都立家政駅



※野方駅、沼袋駅

第2節 本川越～東村山

本川越(11:45)～南大塚(12:50)～新狭山(13:30)～狭山市(14:30)～
入曽(16:00)～新所沢(17:05)～航空公園(17:35)～所沢(18:05)～東村山(19:10)

第119回目のウォーキングは、西武新宿線とした。昨日は雨空で本日2004年6月26日(土)も雨ではないかと思い、ウォーキングの予定はしてなかった。しかし、7時前に愛犬セブンに起こされ、窓を開けて見ると日差しが差し込んでいた。また、家内が部屋の掃除をするので、「外出した方がありがたい」とのことであった。それで、急遽ウ

オーキングすることとなった。セブンの朝の散歩をさせながら、どのコースにするかを考えた。あれこれと考えた結果、本川越駅から小平駅までの 24.9Km を挑戦することにした。



※本川越駅

自宅を9時過ぎに出て、西武新宿駅から本川越駅に向かう。本が頭につく駅は、私がこれまで踏破した駅の中で、小田急線の本厚木駅とJR線の本千葉駅とあり、新や東西南北より聞こえがよい感じがする。10時34分発の急行西武遊園地行きに乗り、本日予定していた小平駅で西武新宿10時38分の電車に乗り換える。拝島駅から沼袋駅までは、西武鉄道に乗らずに挑戦したものだから、沿線でのウォーキング情報がないままであったので、多少効率面を欠いた可能性があった。急行は高田馬場、鷲ノ宮、上石神井、田無の順で停車し、田無以降は各駅停車であった。本川越駅には11時45分頃到着する。本川越駅で切符を自動改札口に通そうとしたところ、汗で切符が不良となり、ブザーが鳴る。駅員さんに事情を説明し、別の改札口から出る。途中、川越駅経由本川越駅行きのバスと対面する。



※南大塚駅、新狭山駅

西武新宿線が主要線路にもかかわらず、本川越駅から 500m 位単線であった。また、JR 線や東武東上線とも接続していないのも第 2 の発見である。この発見に関連して今更ながら、西武新宿駅でも、JR 線をはじめ、小田急線や京王線等とは孤立しており、アクセスに不自由さを感じた。西武独自の経営方針かもしれないが、顧客の利便性から検討の余地があるように思われた。第 3 の発見は、小田急線のロマンスカーと同様な運賃体系で 1 時間に 1 本程度 7 両編成の特急（レッドアロー号）を走らせていることである。ウォーキング現場から見た限り、本日はこの特急の乗車率は低かった。しかし、聞くところによるとウィークデーは通勤で混雑するとのことである。川越方面は、JR 線や東武東上線の競合があり西武鉄道の経営戦略が痛いほど理解できた。このようなことを考えて歩いているうちに西武新宿線が複線となり安堵した。

ほぼ、鉄道に沿って歩いた先に南大塚駅（12 時 50 分）があった。新狭山駅前には 13 時 30 分に着く。駅前には「緑と郷」を題材とする母と子の銅像（小島廣志氏作）があった。制作日は昭和 63 年 3 月で、偶然にも小生が管理職に拝命された時期と同時期であった。そのようなこともあり、この像が印象に残った。14 時前、高圧電線の下に西武鉄道の入間川変電所を通過する。この近郊で新狭山方面に再度逆戻りしようとしていた。踏切を挟んだ道の方向性がわからなかったためである。75 歳位の老人は私が南大塚駅の方に行くと思っていたらしい。それで、私が間違った方向に進もうとすると、親切にもわざわざ自転車で「違うよ」と注意するために来てくれた。それで、200m 位引返す。歩いた道路には至る所で、昨年の川越線踏破の際、参議院議員の補欠選挙で見かけた顔ぶれが選挙ポスター（民主党候補の島田ちやこ氏、日本共産党候補のあべ幸代氏）にあった。



※狭山市駅

狭山市駅には 14 時 30 分に着く。幹線道路から 200～300m 位坂を登ったところにあった。味自慢の美楽という中華料理屋に駆け込む。野菜炒め定食が安くて美味しかった。狭山市駅近郊には、ハイパークと航空自衛隊入間基地があり、これらの影響で 500m

位の袋小路に突入し、引き返す場面に出くわす。金網先ではジョギングをしている人があった。この時、この人との距離を感じた。韓国と北朝鮮の関係がこのような感じかも知れない。何とかハイパークへの道を探したがなかった。袋小路の先には「みのり福祉会」の施設があった。この袋小路に沿って西武新宿線があり、線路は道路から 3m 位下であり、電線が道路から微かに見えた。国道 50 号線を潜った先の入口には、「この道を通り抜けできません」と確かにあった。しかし、それを打ち消すかのように幅 3 m 位の道路 (3.2m 高さ制限) が 500m 位先まで直線で続いており、一時はこの表札は間違いでないかと疑った。



※入曽駅、西武車両清掃

国道 50 号に出て、入曽 (いりそ) を目指す。途中コーセイ狭山工場や入間野神社があった。入曽駅には 16 時丁度に到着する。万歩計は「小田急友の会」からもらった分は 30,234 歩、一方、これまで使用していた万歩計は 29,596 歩であった。朝、感度を調整した関係で数値が逆転となった。万歩計は誤差が生じやすい。これまでのウォーキング記録を活用して、いつか誤差の研究にも挑戦したい。ウォーキングは色々夢が広がる。植物の研究も面白い。この国道に沿って、新所沢駅を目指す。途中、電車を洗う施設に出くわす。数人の係員が車と同様な方法で電車のクリーニングをしていた。途中、国道 50 号線と西武新宿線と交差する箇所があった。新所沢駅には 17 時 5 分に到着する。駅前には若者が賑わっていた。鉄道に沿って航空公園駅があった。17 時 35 分の到着である。時間の関係でこの駅の由来まで踏み込むことができなかった。



※新所沢駅



※航空公園駅

所沢駅西口には PROPE の商店街経由で 18 時 5 分に到着する。この通りには若者で一杯だった。今日は、4 時位から曇り空になり、18 時は照明がそろそろマッチする時間帯になろうとしていた。南口も西口駅前通りの道に面してあった。所沢駅は西武新宿線の他、西武池袋線も合流しており、西武鉄道の心臓部だけあり、これまで遭遇した駅の中で最も賑やかな駅だった。駅前には幾つかの高層ビルも見かけた。この駅から東村山駅へ向かうのに骨が折れた。西武池袋線が意識とは逆に絡み合っている。更に狭山線があり一層複雑にしていた。地図をよく見て、難を逃れる。狭山線、西武新宿線それから西武池袋線の踏切 (30m 位) を渡ったのが地形を単純化することができた。住宅街をやっとのことで通り抜け、所沢街道に出る。途中坂を上るか下るかの選択を迫られたが、上りの選択が功を奏した。山道であったのでとんでもない方向に進むのではないかと心配した。時刻も 18 時半を過ぎ不安だった。坂を上った先に所沢街道があった。これで、東村山駅への道が確保された。



※所沢駅、東村山駅

この街道に出て数百m先に東京都があった。柳瀬川が東京都と埼玉県を分けていた。途中、道路の分岐点があり、うす暗くなり方向性に自信がなかったので、3人ずれの女子中学生に東村山駅を聞く。左折して真っ直ぐしばらく歩いた先にあるとのことであった。東村山駅には19時10分に到着。この駅のトイレで汗だくだったシャツを着替える。本日も西武新宿駅ではなく高田馬場経由で新宿駅に向かう。小田急線に乗るや否や、私と同じくらいの年格好の外国人（米国人か）に町田までの行き方について質問を受ける。「ロマンスカーに乗れるのか。どうすればよいのか。料金はいくらか。」等の質問であった。対応に苦勞した。自宅には21時25分到着。本日の営業距離は、21.5Km、万歩計は55,022歩だった。本日もナイターを聞きながら帰宅するはずであるが、ここ数試合の巨人の戦い方がふがないのでパスする。結果的には、上原が6連敗をストップさせた。巨人ももう少し経営努力しないと近い将来ファンから見放される恐れがある。

第3節 西武園～東村山～小平（含む西武園線）

※西武園～東村山は西武園線

西武園(12:00)～東村山(12:35)～久米川(13:20)～小平(14:15)



※西武園駅、北山公園

西武新宿線の仕上げは、2004年8月21日（土）に行なう。東村山駅＝小平駅（3.4Km）と沼袋駅＝西武新宿駅（6.1Km）に加え、西武園駅＝東村山駅（2.4Km）の合計営業距離11.9Kmである。当初は家内が田舎に行っている関係で本日のウォーキングはしない予定であったが、朝起きて急遽思いついた。西武新宿線が中途半端である状態が嫌であったからである。本日も残暑で厳しい日差しであった。愛犬セブンを散歩させた関係で、自宅を10時前に出る。歌舞伎町近郊の取り締まりから、西武新宿駅前の手前で3人のお巡りさんによる手荷物検査を受ける。怪しい人物と思われたのかも知れない。西武新宿駅から本川越行きに乗り、東村山駅で停車中の西武園行き（11時52分発）の電車に乗り換える。西武園駅には12時頃到着。西武園のユネスコ村には私が昭和48年入社した際、同期十数名でハイキングに来た思い出がある。年月の流れは早いものである。南口で降り、一駅先の東村山駅を目指す。12時20分関場橋から北山公園に入り12時25分善行橋から一般道に出る。市街地を通り抜け諏訪神社に12時40分到着。細い路地もあったが、行き止まりには運良くぶつからなかった。諏訪神社では祭りの準備がなされていた。



※久米川駅、小平霊園前

この境内にある標語「親として教えよう 正しい心と強い意志」が印象に残った。電車の広告等でも「家庭学習崩壊」という言葉を目にする。私もこれらの言葉には同感である。親本人が正しい教育方針を持っていないと将来の日本の宝である子供にきちんとした教育はできないからである。子供の教育の前に親本人の自己研鑽の必要性を一層感じた。久米川四丁目辺りの踏み切りを少し行った先に東村山駅（12時55分）があった。本日は先日踏破し北口ではなく南口であった。それで、駅の階段を使用して一旦北口に出る。

ここから前回の続きとなる。天王橋を13時15分通過。新青梅街道が頭上にあった。この目と鼻の先に久米川駅（13時20分）があった。東村山駅と同じくらい駅前には賑やかだった。駅前のカレーハウス壺番屋で昼食をとる。20分位休息後小平駅を目指す。途中、マリア像のある晃華学園暁星幼稚園を通り、櫛並木が見事な小平霊園の表参道の

先に小平駅があった。櫛並木に並行してメモリアルアートの大野屋、市川家、よしの家と言った墓石専門店が通りに並んでいた。前回のウォーキンでは櫛並木程度でその他の記憶はなかった。小平駅には14時15分に到着。ここから、西武新宿線で沼袋駅まで移動する。このようなパターンは過去2回ある。ひとつは水道橋駅から浅草橋駅まで歩いた後電車で北総線の千葉ニュータウン中央駅まで移動したことである。二つ目は先日の勝田駅＝水戸駅の踏破の後、鹿島神宮駅まで移動したことである。

第4節 沼袋～西武新宿

沼袋(15:00)～新井薬師前(15:15)～中井(15:40)～下落合(16:10)～
高田馬場(16:35)～西武新宿(17:10)

2004年8月21日(土)、小平駅から沼袋駅まで数十分電車に乗り、沼袋駅には15時到着。駅前では氷川神社のお祭り神輿にあった。「氷川社御祭礼」の一文字ずつとった堤燈6個が受付の頭上にあった。15分位歩いた先に新井薬師前駅があった。



※新井薬師前駅

残念ながら地図を確認していなかったから、肝心な新井薬師は記念写真に収めることができず。中野区立第五中学校の近郊に落合公園があった。水車上橋からこの公園に入る。一昨日以来「落合」という名称を目にする。一昨日(いすみ鉄道)は落合川であった。本日は落合公園、上落合、下落合という名称に出会った。今年は落合率いる中日の優勝かも知れない。落合監督の「俺流」という言葉が好きである。雑音に左右されることなく、自分の信じる道を進む独立独歩の生き方である。自分に自信があるからできるのであろう。落合氏は雑草の中から這い上がり、日本球界で快挙となる三冠王を3回も獲った。選手としても指導者としても優秀である。大局観があり持ち駒を美味しく使う。そのほか、勝負師としての大切な考え方、独眼竜政宗の師である虎才(こさい)和尚の教え「伊達流へそ曲がり術」も心得ている。つまり、「暑いと時には涼しいと言ひ、寒

いと時には暑いと言う」術である。自分の心を人に読まれない技法である。



※中井駅

鷺沼駅や沼袋駅で登場する妙正寺川に沿う遊歩道を通り中井駅に進む。美仲橋を 15 時 40 分通過。栄橋辺りの遊歩道の反対側には新宿区立落合第五小学校があった。この近郊は 3 年前大江戸線踏破の際通過した記憶があった。遊歩道に沿い中井商工会があり色々なお店が連なっていた。中井駅には 15 時 40 分到着。大正橋を境に遊歩道が途切れる。この橋から 100m 位先で西武新宿線が横断していたからである。延命山の光徳寺（真言宗豊山派）前を 16 時通過し、下落合駅には 16 時 10 分に着く。



※下落合駅

新宿区立戸塚第三小学校、宮田橋公園を經由し東京富士大学前を 16 時 25 分通過する。この辺りから地名は高田馬場であった。南こうせつが歌う「神田川」を越えると、商店街がありこの突き当たりに高田馬場駅（16 時 35 分）があった。山手線以来 2 度目の踏破である。駅前の 100 円ショップで買い物後、終着の西武新宿駅を目指す。山手線の内側を歩く。JR 線新大久保駅手前に西武文理大学が山手線の外側に見えた。新大久保駅と新宿駅の間辺りに西武新宿駅があった。17 時 10 分の到着であった。自宅には 18

時 35 分着。本日の万歩計は 25,978 歩だった。本日で本川越駅から西武新宿駅までの 47.5Km が繋がった。充実感の一日であると同時に今日も高田馬場の 100 円ショップ辺りでタオルをロストし、反省する一日でもあった。



※高田馬場駅、西武新宿駅